



2005 vol.6
Nagaoka Institute of Design
alumni association



Nagaoka Institute of Design Alumni Association

会長挨拶



長岡造形大学校友会会長
環境デザイン学科 2期生
佐藤 実（さとう みのる）

会員の皆様におかれましては、各界でご活躍のこととお慶び申し上げます。

長岡造形大学校友会は、第1期生卒業の平成10年3月に発足し、現在会員数はおよそ2650名を数えるまでになりました。

当会は校友大会、広報誌、学生活動助成金などの事業を通し、会の目的である会員相互の親善、母校と学術の発展に寄与するために活動しています。

試行錯誤しつつも現状に合った事業展開を心がけ、カタチにこだわらない自由な感覚で当会デザインを運営しています。

会員の皆様のご理解とご協力ならびに活動への参画を心よりお願い申し上げます。

NID TOPICS!!



学科構成の変化に合わせ、大学では大掛かりなリフォームが行われました。

大学を訪れた際にはグルッと校内を回ってみてはいかがでしょうか。
いくつ見つかりますか？



Nagaoka Institute of Design Alumni Association

■ 独立。視覚デザイン学科

視覚デザインコースが 2005 年度より学科として独立しました。

新たに、絵画や版画（シルクスクリーン）といったアート表現の分野が加わり、より一層幅の広いビジュアルデザインを学ぶ環境が用意されました。

● 改称。ものデザイン学科

「アートとデザインの領域を超えたものづくり」

2006 年 4 月 1 日。

産業デザイン学科から、ものデザイン学科へと名称が変わります。

これまでのプロダクト・工芸・テキスタイルに加え、新しくオブジェティブアートコースが新設されました。

◆ 増えてます。インテリアデザインコース

環境デザイン学科に加わった注目の新コースです。

「環境ともの」二つの視点からデザインを学ぶ NID だからこそ、ユニークなインテリアデザイナーが育成され、世に羽ばたきます。



■ 視覚デザイン学科 ビジュアルアートコース

講師 高崎 賀朗 (たかさき よしろう)

研究専門領域 現代絵画 (油画・シルクスクリーン)

研究テーマ 現代における絵画表現の可能性の探求

作品掲載

<http://www.nagaoka-id.ac.jp/gallery/gallery.html>

ビジュアルアートコース概要

現代の美術は、人間や社会の持つ様々な問題に対して、それぞれのアーティストの視点から捉えたメッセージを、色彩、かたち、空間、そして拡張する様々な表現方法による作品へと変換し、社会へと発信するアートコミュニケーションです。

ビジュアルアートコースでは、各個人の持つ「感じ取る力・発想する力・表現する力」を引き出す教育を柱とします。授業では、平面表現 (さまざまな絵画技法・シルクスクリーン技法) の基礎から応用、そして、新たな美術表現の可能性を探求していきます。多岐にわたり混迷を深める現代社会に対して、独自のメッセージと多彩な表現力を持ち発信するアーティストを育成します。



● 産業デザイン学科 オブジェティブアートコース

(平成 18 年度より、ものデザイン学科)

講師 小林 花子 (こばやし はなこ)

研究専門領域 彫刻

研究テーマ 木を基本素材とした立体表現の探求

オブジェティブアートコース概要

表現する方法も内容も多様な広がりを見せている現代アートという分野では、自由な表現の中にも、特に自分を取り巻く社会的な現実をしっかりと捉え、目的意識を持ちながら、自分の表現する「かたち」を追求することが望まれます。

オブジェティブアートコースでは、立体造形の基礎となる形や空間などを認識するトレーニングをはじめ、各素材 (可塑性素材・自然素材) と技法の研究、応用として、新素材も含め、自分独自の感性を発揮できる素材と表現を模索していきます。自由でオリジナリティーある造形表現、新しい価値観の創造、それらを社会に向けて発信できる感性を磨きます。



空 (うろ) の廻り
800×500×30 cm
木 (桑)、灰、セメント 2001 年



◆ 環境デザイン学科 インテリアデザインコース

講師 藤澤 忠盛 (ふじさわ ただもり)

研究専門領域 建築デザイン、空間デザイン、映像デザイン

研究テーマ 室内空間を主体としたデザイン、インテリアデザインの新風土性 等

インテリアデザインコース概要

建築からのアプローチで語るか、モノのデザインの集積として語るか、あるいは主体である人間のありさまからとらえるか…。

インテリアは、その内包する範囲の広さから、あらゆる角度からの取り組みが可能です。それゆえ、体系的に学んでいくことが難しい学問でもありました。むしろ複眼的・多面的な学習が求められるのが、インテリアという分野の特質でもあるわけです。

NID にはものデザイン、視覚デザイン、環境デザインの 3 学科があり、ユニークなインテリアデザイナーが育成できます。

室内空間のデザインとそれに付帯するモノのコーディネートができ、かつ省エネルギーも実現できる人材を育てることが目的です。



Nagaoka Institute of Design Alumni Association

■ 2004 天災の年

2004 年。

NID のある新潟県中越地方は自然災害に悩まされました。

7 月に発生した水害の傷跡覚めやらぬ中、10 月 23 日の午後 5 時 56 分。

新潟県中越地方を大きな揺れが襲いました。

この震災により多くの尊い命が失われ、多くの方々が生活に支障をきたしました。

幸いにも NID は被害も軽く、地震発生以降、学生や教員によって、復旧・復興に向けた数々の活動が行われました。

ここでは、その一部を紹介したいと思います。



復興支援センター長

環境デザイン学科 教授

平井 邦彦（ひらい くにひこ）

復興支援センター活動履歴

- 大学等研究機関の実施する各種調査への支援活動
建築学会災害委員会現地調査
- 学術調査等への参加
都市計画学会中越地震現地調査委員会（主査中出文平長岡技術科学大学教授）
ボランティアニーズ調査（新潟県災害救援ボランティア本部中越センターとの共同）
長岡市仮設住宅アンケート調査（慶応義塾大学都市防災研究室との共同）
- 復興活動支援
大地復興推進会議（事務局）
山古志復興新ビジョン研究会（事務局（社）北陸建設弘済会）
- イベント等
中越大震災 震災から半年 復興スタート宣言 産官学リレーションポジウム

長岡造形大学は、2004 年 10 月 23 日発生の「新潟県中越大震災」からの復興に対応すべく、本年 3 月 1 日に「復興支援センター」を設立いたしました。

中越地域の震災復興には環境、視覚、ものづくり等の面にわたり全学をあげた息の長い対応が必要であります。

また、震災復興のデザインには、科学技術、経済、心の問題も含めた総合的な対応が必要なため、本学は長岡技術科学大学や長岡大学をはじめ関係教育研究機関や行政、民間等の協働を積極的に推進いたします。

豊かで新しい中越地域の創造に向け、長岡造形大学は教職員、学生、卒業生を含め総力をあげた取組を行います。

関係の皆様方におかれましては、本センター設立の趣旨をご理解いただき、今後の活動に関しご指導、ご協力をお願い申し上げます。



復興キャンペーンスローガン

行政や企業による様々な復興 PR 活動で目にするこのスローガンデザインは新潟県総合政策部からの依頼により、視覚デザインコースの学生が手掛けたものです。

復興はまだ始まったばかり。

今後、私達が出来ること。きっと何かあるはずです。

このスローガンデザインは新潟県庁のホームページサイトからダウンロードできます。

映画「掘るまいか」上映会



旧山古志村にある延長約 900 メートルにも及ぶ手掘りトンネル、「中山隧道」についてのドキュメンタリー映画「掘るまいか」山古志村復興支援の一環としてこの映画の上映会を大学にて行いました。

この上映会により得た収益 (上映協力金 / 1 人 1000 円) のすべてが山古志村復興支援金として贈られました。



- ・新潟県中越地震復旧・復興 GIS プロジェクト
(<http://chuetsu-gis.nagaoka-id.ac.jp/>)
- ・中越ホープダイアリー
(<http://sawada-lab.cocolog-nifty.com/hopediary/>)

災害時には、いかに迅速に正確な情報を得られるかが重要となります。本学、環境デザイン学科講師・澤田雅浩先生が携わっている上記 2 つのサイトでは、新潟県中越大震災直後からの様子がインターネット上で写真や地図上データとして公開されてきました。そして現在も更新中です。

GIS プロジェクトは、新潟県中越大震災後、福岡で発生した地震の際にもその経験が活かされました。

ダンボール家具マイスター



災害時、人と物で溢れる避難所での生活環境を向上させる対策の一つにダンボール家具があります。

ダンボールは収納家具だけでなく、机や椅子を作り利用することができます。

大学では渡辺研究室が中心となり、避難所での支援を行うため「ダンボール家具マイスター養成講座」が開かれました。

講座により誕生した約 20 名のダンボールマイスター達が、授業のない週末を中心に、ボランティアセンター等要請に対応し、各地の避難所で活動を行いました。



Nagaoka Institute of Design Alumni Association

校友会からのお知らせ

■平成16年度長岡造形大学校友会 助成金結果報告

	採用者（個人 / 団体名）	テーマ
1	工業デザインコース	てつそん 2005 参加
2	視覚デザインコース	視覚デザインコース卒業制作学外展示
3	テキスタイルデザインコース有志	＜邂逅＞という視点から布を捉え、 布の変貌としての＜布＞を提案
4	テキスタイル・ 工芸デザインコース有志	テキスタイルの世界を広める / 工芸デザインコース卒業研究学外展
5	文化財建造物保存研究サークル	佐渡デザインスクール

選考結果

応募件数： 5 件（団体 5）

採用件数： 5 件（団体 5）

■平成17年度長岡造形大学校友会 新役員

・五十嵐 愛（総務担当）

この度、校友会の新役員となりました環境デザイン学科 8 期卒業生の五十嵐愛です。

まだ校友会の活動内容を把握しきれていない部分は多々ありますが、既卒の先輩方と同級生、そしてこれから校友会の仲間になる在学学生を繋ぐ校友会の役員に選ばれたからには出来る限りのことをしたいと思います。宜しくお願い致します。

・堀 秀樹（広報担当・第 8 期学年幹事）

皆様お元気でしょうか。

今年度より長岡造形大学校友会役員を務めることになり、大変うれしく思っております。

社会に自慢のできる長岡造形大学校友会にするため、今後も更なる勉強をし、そして楽しみながら校友会に役立って行ければと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

・飯濱 幸子（校友大会担当）

■不審な住所確認の電話にご注意！

長岡造形大学同窓会と名乗り、卒業生の住所を確認したいという内容の電話が卒業生の自宅にかかっているそうです。校友会として電話で卒業生の住所等を聞くことは一切無いのでご注意ください。

■研究室リーダーの選出、依頼（1～6 期生）について

現在、校友会では会員同士の連絡を円滑にするため、各期生の研究室リーダーの選出、依頼を行っています。これは、校友会からの連絡を各期の研究室生に伝達していただくものです。平成 15 年度卒業の 7 期生以降の研究室リーダーについてはすでに選出され、それ以前の会員については未選出となっています。今後、その選出、依頼にあたり、校友会から皆さまのところに連絡をさせていただくことがあると思われませんが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■校友会会報誌記事依頼について

来年度、校友会会報誌を発行する際、記事のご依頼をすることがあるかもしれませんが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

大学からのお知らせ

■卒業生への資料貸出について

附属図書館では、昨年より卒業生の皆さんへ資料貸出を行なっています。居住地の県内外を問わず、本学卒業生であればご利用いただけます。利用についての詳細は、大学ホームページをご覧ください。

■卒業後の各種証明書の発行について

卒業後、各種証明が必要となった場合は、大学窓口にて申請を行うほか、郵便での申請も受け付けています。証明書発行についての詳細は、大学ホームページをご覧ください。

長岡造形大学ホームページ <http://www.nagaoka-id.ac.jp/>



Nagaoka Institute of Design Alumni Association

■平成16年度長岡造形大学校友会決算

[収入]		(単位:円)
項目	予算	決算
終身会費	8,210,000	8,350,000
前年度繰越	1,118,757	1,118,757
預金利息	0	37
校友大会参加費	0	36,000
合計	9,328,757	9,504,794

[支出]		(単位:円)
項目	予算	決算
事務費	100,000	11,655
会議費	100,000	27,880
旅費	500,000	183,040
助成金	2,030,000	998,481
広報費	200,000	187,920
会員データ管理	760,000	714,840
校友大会	1,000,000	103,348
卒業・修了記念品	600,000	540,515
通信運搬費	730,000	269,565
積立金	3,000,000	6,000,000
予備費	308,757	630
合計	9,328,757	9,037,874
収入一支出	0	466,920

■平成16年度長岡造形大学校友会特別会計決算

[収入]		(単位:円)
項目	予算	決算
前年度繰越	60,053,033	60,053,033
一般会計から繰入れ	3,000,000	6,000,000
預金利息	0	14,455
合計	63,053,033	66,067,488

[支出]		(単位:円)
項目	予算	決算
次年度繰越	63,053,033	66,067,488
合計	63,053,033	66,067,488

みなさんからお預かりした校友会費は、このように使わせて頂いています。

■平成17年度長岡造形大学校友会予算

[収入]		(単位:円)
項目	予算	
終身会費	8,620,000	
前年度繰越	466,920	
預金利息	0	
合計	9,086,920	

[支出]		(単位:円)
項目	予算	
事務費	150,000	
会議費	50,000	
旅費	350,000	
助成金	2,020,000	
広報費	200,000	
校友大会	150,000	
卒業・修了記念品	600,000	
通信運搬費	600,000	
積立金	4,000,000	
予備費	966,920	
合計	9,086,920	
収入一支出	0	

■平成17年度長岡造形大学校友会特別会計予算

[収入]		(単位:円)
項目	予算	
前年度繰越	66,067,488	
一般会計から繰入れ	4,000,000	
預金利息	0	
合計	70,067,488	

[支出]		(単位:円)
項目	予算	
次年度繰越	70,067,488	
合計	70,067,488	

